

各位

北海道鉄道観光資源研究会

北海道・鉄道史の誇り。往年の「特急おおぞら」を国鉄色で未来へ  
スラントノーズ型・キハ 183 保存プロジェクト 情報発信へのご協力のお願い

新春の候、ますますご健勝のことお慶び申し上げます。

さてこの度、北海道鉄道観光資源研究会では、北海道勇払郡安平町からの応援のもと、2018 年 3 月に完全引退・全車解体危機の「北海道・鉄道史の誇り」スラントノーズ型 キハ 183 を、往年の「特急おおぞら」を国鉄色に復元して、未来へ残すためのクラウドファンディングを実施いたします。

つきましては、本プロジェクトの趣旨にご賛同いただき、成功に向けて、情報発信などに広くご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 事業概要について

〔プロジェクト名称〕：北海道・鉄道史の誇り。

往年の「特急おおぞら」を国鉄色で未来へ

〔概要〕：JR 北海道より特急気動車キハ 183 系車両を譲り受け、往年の国鉄特急色(クリーム色と赤色のツートンカラー)に復元の上、2019 年春開業予定「道の駅あびら(仮称)」にて蒸気機関車 D51 320 号機と一緒にキハ 183 を並べて保存します。

〔目標額〕：610 万円 (※達成できない場合は返金、プロジェクトは中止となります)

(第 2 目標：1100 万円達成した場合、現 安平町鉄道資料館(旧追分機関区)にさらにもう 1 両保存)

〔クラウドファンディング(インターネットを通じた資金調達方法)〕：

<https://readyfor.jp/projects/kiha183ozora>

〔実施期間〕：2018 年 1 月 1 日 0 時 00 分～3 月 30 日 23 時 00 分(88 日間)

◆主催：北海道鉄道観光資源研究会 <https://rail-hokkaido.net/>

◆協力：北海道勇払郡安平町 <http://www.town.abira.lg.jp>  
(2018 年 1 月 7 日より、当プロジェクト応援特設サイト開設予定)

プロジェクトに関するお問い合わせ先

北海道鉄道観光資源研究会 事務局次長 矢野 友宏 090-6213-5601 (個人携帯)

(メールアドレス：yano.tomohiro@nifty.com )

**2018年3月に完全引退・全車解体危機のスラントノーズ型キハ183  
～北海道・鉄道史の誇り。往年の「特急おおぞら」を国鉄色で未来へ～  
『スラントノーズ型キハ183保存プロジェクト』始動**

北海道鉄道観光資源研究会は、汽車旅や鉄道の模型・歴史・撮影をはじめ、様々なジャンルの鉄道愛好家による任意団体です。「地域の賑わいや、旅の味わいを感じることができる演出」を目的に、北海道の現役鉄道や鉄道遺構を含め、すべての鉄道を観光資源と捉え、それらに磨きをかけることで多くの方々に認知と活用をさせていただき活動をしています。

キハ183系は、寒冷地である北海道向けに、1979年に開発された特急用気動車で、1981年に新しく開業する石勝線とともに、北海道の鉄道体系の「新時代幕開けの象徴」として、華々しく登場しました。デビュー当時はクリームと赤のツートンカラー。そして、国鉄時代の伝統である、逆三角形の「特急シンボルマーク」を掲げ、「特急おおぞら」は函館発・釧路行きロングラン列車としてまさに、北海道の鉄道の代表格たる存在でした。

青春の旅の記憶。進学への記憶。就職・転勤の記憶。家族の記憶――。

39年もの長きにわたり、私たちの思い出とともに活躍してくれました。

しかしその車両が、もうすぐ1両残らず姿を消そうとしています。博物館にも残らず、1両も保存予定がない……。それは、あまりにも寂しく、あまりにももったいないことではありませんか。そんな切なる思いで立ち上げたのが、今回のプロジェクトです。このクラウドファンディングが成功すれば、キハ183は、鉄道の町・北海道勇払郡安平町（あびらちょう＝国鉄現役SL最後の「追分機関区」があった町）に建設中の「道の駅あびら(仮称)」に展示させていただけることになりました。

当会では、2015年3月に、北海道初の国鉄交流電車711系について、クラウドファンディング（「47年間愛されて引退した北海道初の電車『赤電』を残したい！」）という手法で保存を成功させており、同じ方法でこの「キハ183系」という貴重な特急車両をデビュー当時の塗装に復元して保存し、後世に向けて活用したいと考えました。

ただ、資金が集まり切らなければ、計画は夢と消えます。まさしく北海道の一時代を築いた特急「スラントノーズ型」キハ183。引退後は、北海道鉄道の歴史を伝えるために活用したい。みなさまの思いを、託していただけませんか。このプロジェクトについて、ひとりでも多くの方々に知っていただきたく、情報発信へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

北海道鉄道観光資源研究会 事務局次長 矢野友宏

スラントノーズ型

# 全車解体危機のキハ183を保存したい!

## 北海道・鉄道史の誇り、往年の「特急おおぞら」を国鉄色で未来へ

<https://readyfor.jp/projects/kiha183ozora>

### クラウドファンディング挑戦中!

期間 **88**日間 2018(平成30)年  
1月1日(月)～3月30日(金)

期間内に第1目標額が集まらなかった場合、全額返金。  
プロジェクトは中止となります。



### 資金調達に成功した場合、2019年春OPEN予定の「道の駅あびら(仮称)」で 鉄道文化を伝える存在として、第2の人生を歩むことができます!



安平町では、屈指の保存状態を誇る蒸気機関車D51 320号機をメインに「鉄道をテーマとした」道の駅を作ります。北海道鉄道観光資源研究会の取り組みに、全国の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

安平町長 瀧孝

プロジェクト名  
「北海道・鉄道史の誇り。往年の「特急おおぞら」を国鉄色で未来へ」



2019年春OPEN予定  
道の駅あびら(仮称)

安平町

キハ183 D51 320

第2目標金額(1,100万円)を達成した場合、安平町鉄道資料館(旧追分機関区)にさらにもう1両保存します。

- 期間 **2018**(平成30)年1月1日(月)～3月30日(金) **88**日間
- 目標金額 **610**万円 ▶ 第2目標金額 **1,100**万円
- 募集サイトURL <https://readyfor.jp/projects/kiha183ozora>
- 支援方法 募集サイトにアクセスし、登録・ログインの上、Web上のシステムに従い入金。

期間内に第1目標額が集まらなかった場合、全額返金。プロジェクトは中止となります。



鉄道を通じて、地域の賑わいや、旅の味わいを感じることができる演出を...

北海道鉄道観光資源研究会

担当:事務局次長 矢野友宏 090-6213-5601  
yano.tomohiro@nifty.com





逆三角形の「特急シンボルマーク」を掲げ、クリームと赤の「国鉄特急色」を纏ったキハ183系 特急「おおぞら」(撮影:上田哲郎)



新製後、石勝線開業に向けて試運転を繰り返すキハ183系の試運転車。(撮影:上田哲郎)



国鉄特急色でリバイバル運転された際、生田原駅で行き違う新旧の特急「オホツク」。



© T. Yano

現在のグレーと紫色のキハ183系と、クリームと赤の「国鉄特急色」に復刻されたキハ183系



183系特急気動車「おおぞら」運転記念しおり



安平町追分SL保存協力会



安平町長 瀧孝



石勝線開業日の追分駅



石勝線 開業記念ポスター